

第 52 回 Pitch to the Minister 懇談会 “HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年 6 月 19 日（水）13:00~14:00
- 場所：中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：イノベーション創発に対する科学的アプローチ（イノベーション・テック）
- 招へい者：松本勝 VISITS Technologies 株式会社/代表取締役 CEO
- 主な出席者：平井国務大臣、左藤副大臣、上山 CSTI 議員、三輪政府 CIO、奥田参事官（IT）、仁科参事官（知財）、中内補佐（知財）、池田企画官（科技）、齋藤補佐（科技）、土屋政策調査員（科技）、高倉参事官（宇宙）、森参事官（宇宙）、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 松本勝 VISITS Technologies 株式会社/代表取締役 CEO からの説明

- クリエイティビティを科学して、誰にでもイノベーションを起こせるエコシステムを構築することが弊社のミッション。
- 我々の合意形成技術の CI 技術（Consensus Intelligence 技術／コンセンサス・インテリジェンス技術）は、人の創造性、目利き力、アイデアの価値などの定性的な価値を独自開発の合意形成アルゴリズムにより定量化する特許技術。
- CI 技術は Google の Web サイトのスコアリング（ページランク）をより一般化し、あらゆる価値を客観的にスコアリング可能。みんなから良いアイデアを出す人と評価された人が行う評価は、その他の人が行う評価よりみんなから「良い」と共感される可能性が高いと考え、その人の評価に重みを付ける。この重みをどれくらいつけるかを数学で解いている。
- 最初から「良い」ものを探し求めるのではなく、共感がどこにあるのかを見える化することで納得性の最大化に取り組んでいる。
- CI 技術では、前半セッションで各個人がアイデアを出し、後半セッションで出されたアイデアに対して匿名での相互評価を行う。評価が終わると、自動で重み付けの計算を行い、アイデアや人の創造力・評価力のスコアリングを行う。
- 利用用途の例としては、
 - ①社内で事前にアイデア DB を構築しておけば、アイデアの中から自社ビジョンにマッチする事業アイデアをレコメンドする。
 - ②アイデアのスコアとニーズの解決に使われた技術の組み合わせを見える化することで、どの技術がイノベーションを起こしやすいかを見つけ出す。
 - ③社内で蓄積したアイデア DB は slack のようなチャットツールや Alexa と連携して壁打ちのような一人ブレストも実現できる。
 - ④アイデアを入力すると、過去に高いスコアを出したアイデアの分析に基づきそのア

アイデアの改善のレコメンドを行うことができる。

⑤人の能力を定量化する機能に特化したデザイン思考テストやイノベーター人材の発掘にも活用できる。大企業とベンチャー企業のマッチングにも活用することができる。オープンイノベーションの促進に貢献できる。

- 社会貢献活動として、イノベーションテック・コンソーシアムを本年4月に創設し、イノベーションの創発をテクノロジーで加速する「イノベーション・テック」を日本発で世界に広める活動にも取り組んでいる。(<https://innov-tech.org/>)
- 誰もが世の中を変革できる人材になれるのであれば、自分の存在価値を自己承認することができそれが生きがいになる。人々の幸せをテクノロジーで加速したい。

3. 主な質疑応答・議論

- CI 技術はアイデアの真の価値が分かる人の1票を重くすることに価値がある。補助金の審査や政策の企画立案に活用できるのではないかとこの意見があり、松本氏から、政府の審議会等で実際に採用されているとの応答がなされた。
- 社内で CI 技術を利用して、社員の目利き力や創造性が測定できれば、社員が CVC やベンチャーに向いているかがわかるとの意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)